

2024年7月17日

通貨ニュース

マレーシア:7月金融政策会合～突発的なインフレリスクを注視

マレーシア中銀(BNM)は11日の金融政策委員会(MPC)で、政策金利を従来の3.00%に据え置いた。政策金利の現状維持は23年7月以降、7会合連続での決定となった(図表1)。ブルームバーグの事前予想では全員が現状維持を予想していた。

声明文ではマレーシア経済について、堅調さを維持するとの見方を維持した。個人消費の回復は一巡しつつあるが、労働市場の回復、民間・政府における投資の活性化、貿易取引の持ち直し、観光業の本格化など先行きの景気押し上げ要因を複数指摘した。一方で、資源価格の下落や中国経済をはじめとする外需の減速を景気下押しリスクとして言及した。

物価動向に関して、5月消費者物価指数(CPI)は前年比+2.0%、生鮮食品と政府による価格統制品を除くコアベースも同+1.9%と概ね安定的に推移。しかし、下半期にかけては6月実施の補助金制度の変更につきディーゼル燃料の価格が約6割上昇する点に言及し、これがどの程度物価を押し上げるかを注視する方針を示している。BNMによれば、ここまでインフレ率は年初来で同+1.8%で推移したが、年間では同+2.0~+3.5%まで上昇すると見込んでいる。BNMはインフレを引き続き制御可能であるとしているが、補助金や価格統制のほかに、米国をはじめ海外の金融市場の動向にも左右される点も強調した。

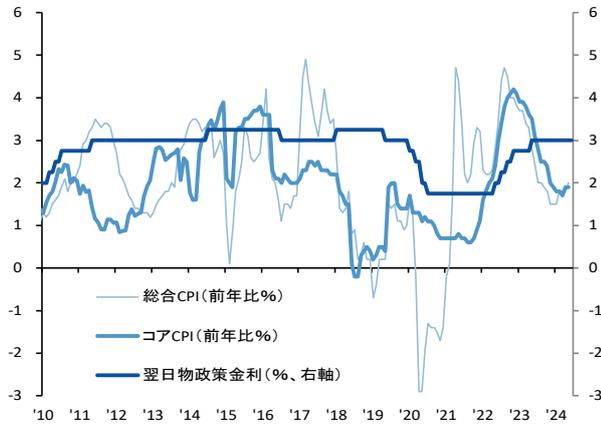
かかる中、BNMは現行の金融政策は景気支援的で足許のインフレ・経済成長評価と一致しているとした上で、政策金利を据え置いた。今回会合に際して、先述の補助金削減の影響でインフレリスクも高まることは既に予想されていたため、政策転換が見送られることは妥当であると見受けられる。今後数回の会合は、短期的なインフレを評価することが主なポイントとなりそうであるが、今後の金融政策を展望する上では、労働市場が今後より逼迫した場合において賃金上昇が過去と比較して大きく乖離しないかに着目すべきだろう。賃金水準は22年の段階でコロナ前の水準に肉薄しており、前年比で見ても段階的に数字が強くなっている点は念頭に置きたい(図表3)。

7月のMYR相場について、一時4.66台を記録するなど、1月以来の高値水準で推移しているが、これは米国のインフレ鈍化に伴う利下げ期待の高まりなど、外的要因によるものが大きいと考えられる(図表4)。金利面では一時的なインフレリスクはあるものの、マレーシアの金融政策は景気支援が優先されており、金利面で大きく変わる要素はなく、為替の方向感ドルに左右される展開が続くそう。また、MYRの需給面を見るとやや改善傾向にあり、1~3月期の経常黒字は162億リングと約1年ぶりの規模まで回復している。貿易収支の持ち直しのほか、サービス収支赤字の縮小が続いており、これは観光業の本格再開の影響が大きい。図表6に示される通り、観光客の受入増加と相まって旅行収支は改善しており、この傾向は下半期も変わらないだろう。夏場にかけて

金融市場部
シニアマーケット・エコノミスト
堀 堯大
03-3242-7065
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

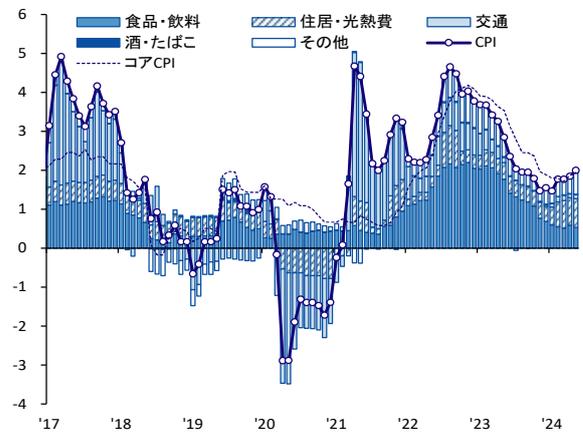
は、米国の金融政策の動向に合わせて方向感の出にくい相場となりそうだが、秋口から米大統領選直前までの間は米利下げの期待の一層の高まりや需給の改善から断続的に高値をつける時間帯も出てくると予想される。

図表 1: 政策金利とインフレ率



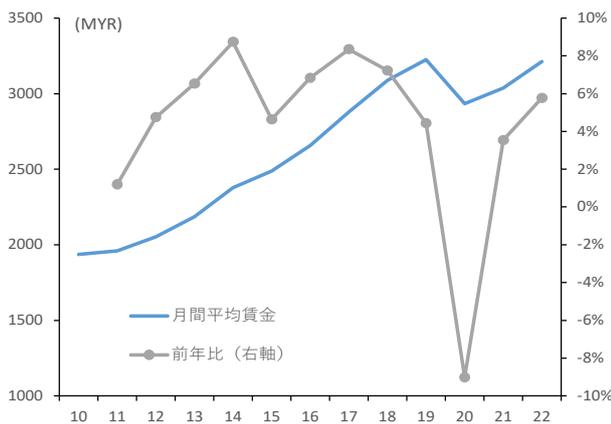
出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 2: CPI の動向 (前年比%、%ポイント)



出所:CEIC、みずほ銀行

図表 3: 月間平均賃金の推移



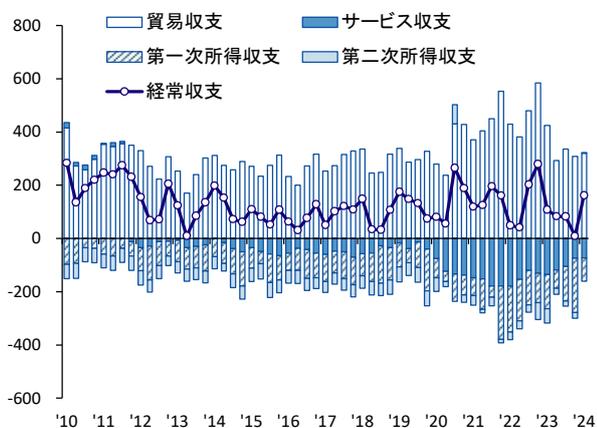
出所:Macrobond、みずほ銀行

図表 4: MYR 相場の動向



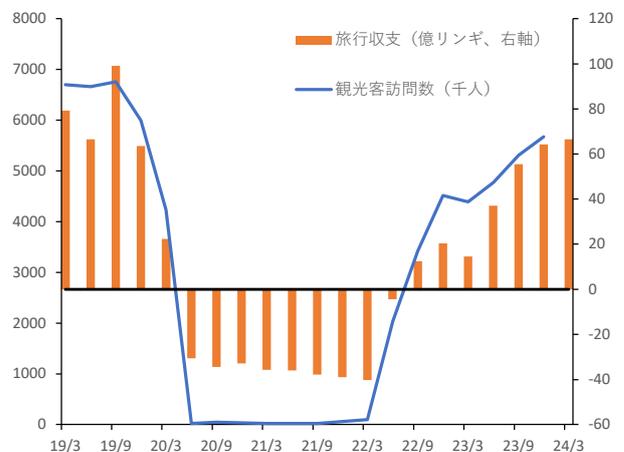
出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 5: 経常収支の動向 (億リンギ)



出所:CEIC、みずほ銀行

図表 6: 旅行収支と観光客訪問数



出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、确实性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。